

市議会だより

まいばら

58号
2019.10.30



こども議員体験は楽しかったよ

こども議員 (8月2日こども議会)

新しい条例

住民投票条例を常設型の条例として制定することに対してその必要性や内容を議論し賛否が大きく分かれた結果...
(討論は4ページ) (委員会は8ページ)

決算認定

バス運行補助金に関して伊吹地域北部のバス運行の見直しはいつ頃か質した結果...
(決算は7ページ)

こども議会

25人のこども議員が話し合いこども議員提案条例を可決
気になるその内容は... (こども議会は裏表紙に掲載)

補正予算

大津市の事故を受け各校園の周辺道路安全緊急点検により路面標示工事を追加
(委員会は10ページ)

まちのリアル(現実)をあなたと共有 人口変動カウンター

57号発行月 7月39,041人 ▶ 58号発行月 10月38,992人

3か月間で **49**人減少

新しい条例ができました

市民が投票で賛否を表すことができる**住民投票**を、個別の案件ごとに条例を制定して実施する方法ではなく、**条例を常設で制定**しておく議案に対し**常設の必要性や投票資格者**について議論し、**総務教育常任委員会**では、賛成2人 反対3人で**否決**されたが、本会議で討論が行われ、採決の結果**賛成9人 反対8人**で**常設とする条例を可決**

◀ 討論 P4
◀ 賛否の内容 P5
◀ 総務教育 委員会報告 P8

忙しいあなたへ ほぼ5分でわかる! 9月定例会 ハイライト

市役所の**臨時的任用職員**が来年度以降**会計年度任用職員制度**へ移行する条例を**可決**
滋賀県市町村**交通災害共済組合**の解散に伴う**財産処分**等の協議を行うための議案を**可決**

議会が**可決**した 主な**補正予算**

各**校園**の**周辺道路安全緊急点検**による**路面標示工事**約520万円
ケアセンターいぶき 非常用自家発電整備等約2千230万円
近江母の郷文化センター 冷蔵ショーケース購入約83万円
給付型奨学金の申請者減(40人↓26人)で約500万円減額
借金(市債)残高を減らすため**繰上償還元金**約4億1千800万円

予算常任委員会では3つの分科会長から報告を受けて**全議員**で審議した結果**全ての補正予算議案を総員賛成で可決**

議会で審議して**可決**した くらしに関わる**条例改正**

放課後児童クラブの**夕延長利用**(18時から18時30分利用)は**年間利用者**に**限定**されていたが**保護者**からの要望により**長期休業期間利用者**にも**利用を拡大する条例の改正を可決**
◀ 委員会報告 P9

決算特別委員会 30年度一般会計実質収支は約8億円の**黒字決算**
決算認定 賛否が分かれ**賛成13人 反対4人**の賛成多数で**認定**
人権擁護委員 候補者1人の推薦があり**全員賛成**で**適任と議決**
◀ 決算 P6

令和元年第3回定例会の**会期**は8月30日から9月27日までの29日間

- 1 中学生海外派遣事業
三島池の鳥獣保護と水質保全
鹿取和幸 ◀ P11
- 2 放課後児童クラブの質の向上
環境学習
一部除草剤の危険性
中川雅史 ◀ P12
- 3 姉川・天野川の浸水対策
地域力強化推進
ふるさと応援寄付金
矢野邦昭 ◀ P13
- 4 子育て支援の更なる充実
放課後児童クラブの条件整備
澤井明美 ◀ P14
- 5 10月からの消費税に伴う施策
ドライブレコーダーを公用車に
発着障がい支援体制
細野正行 ◀ P15

“我がまちのために!” 私は執行部に
ここが聞きたい **一般質問**

- 6 認知症の方をお世話される家族の支援
西堀 幸 ◀ P16
- 7 保育の「無償化」の問題点
国保税の子ども均等割額の軽減
教職員の長時間労働
山脇正孝 ◀ P17
- 8 天野川の河川管理
磯谷 晃 ◀ P18
- 9 坂田駅周辺まちづくり
後藤英樹 ◀ P19
- 10 小泉以北8集落の地域要望について
今中力松 ◀ P20

1~7 

8~10 

録画配信 **QRコード**

議案審査を付託された委員会を示しています。
 【総教】 総務教育常任委員会 【健福】 健康福祉常任委員会
 【産建】 産業建設常任委員会 【予算】 予算常任委員会
 【決算】 決算特別委員会

議決結果一覧

●第3回定例会 全員賛成で原案のとおり可決した案件

番号	件名	付託委員会	議決結果
報告第7号	平成30年度健全化判断比率について		
報告第8号	平成30年度資金不足比率について		
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について		適任
認定第2号	平成30年度米原市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	【決算】	認定
認定第3号	平成30年度米原市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	【決算】	
認定第4号	平成30年度米原市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	【決算】	
認定第5号	平成30年度米原市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	【決算】	
議案第42号	平成30年度米原市水道事業会計剰余金の処分および決算認定について	【決算】	
議案第43号	平成30年度米原市下水道事業会計剰余金の処分および決算認定について	【決算】	可決 認定
議案第44号	令和元年度米原市一般会計補正予算（第3号）	【予算】	可決
議案第45号	令和元年度米原市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	【予算】	
議案第46号	令和元年度米原市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	【予算】	
議案第47号	令和元年度米原市水道事業会計補正予算（第2号）	【予算】	
議案第51号	米原市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	【総教】	
議案第52号	米原市印鑑条例の一部を改正する条例について	【総教】	
議案第53号	米原市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例について	【健福】	
議案第54号	米原市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の保育料等に関する条例の一部を改正する条例について	【健福】	
議案第55号	米原市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例について	【産建】	
議案第56号	滋賀県市町村交通災害共済組合理約の変更について	【総教】	
議案第57号	滋賀県市町村交通災害共済組合の解散に関する協議について	【総教】	
議案第58号	滋賀県市町村交通災害共済組合の解散に伴う財産処分に関する協議について	【総教】	

賛否が分かれた案件

議案	付託委員会	討論件数	採決結果	清風クラブ				政策研究会 マイバラ				創政クラブ				無会派					
				磯谷 晃	鹿取 和幸	後藤 英樹	田中 眞示	鏑田 明	矢野 邦昭	中川 雅史	西堀 幸	堀江 一三	山本 克巳	吉田 周一郎	今中 力松	北村 喜代隆	澤井 明美	中川 松雄	松宮 信幸	細野 正行	山脇 正孝
認定第1号 平成30年度米原市一般会計歳入歳出決算認定について	決算	2	認定	○	○	×	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第48号 米原市住民投票条例の制定について	総教	3	可決	○	×	×	×	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号 米原市会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例の制定について	総教	0	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第50号 会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	総教	0	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

【表示】 賛成者は「○」とし、反対者は「×」としています。議長は採決に加わらないため、斜線「/」としています。

01 討論の対象議案

○議案第48号 米原市住民投票条例の制定について

米原市自治基本条例の理念にある市民参画および市民協働を推進し、市民が主体となったまちづくりを進める目的の住民投票を常設の条例とするための議案

02 常任委員会の採決

総務教育常任委員会で議案第48号を原案のとおり可決することについて
賛成2人 反対3人により賛成少数で否決

03 本会議の討論

議案第48号に対する討論

賛成

吉田 周一郎 議員

本条例の根本には「米原市自治基本条例」がある。その後設置された「自治基本条例推進委員会」は常設型住民投票条例案を意見書に盛り込まれた。

住民の代表である議会と市長による間接民主主義を補完する制度として常設型が必要です。

投票資格者としての永住外国人に市民として地域の一員として、意見や考えを表明する手段を与えることは、時代の流れであり法律違反ではない。市民の市政への参加と真の市民自治につながる。

賛成

山脇 正孝 議員

地方自治は、国籍はどうあれ住民に奉仕するために、住民自身の参加によって進められる。米原市の人口の半分は女性だが、市議会では女性も2人だけだ。また階層ごとに議員が選ばれているわけではない。代表制は元から不備をもっている。

それを正す方策の1つが、住民投票制度である。4年に1回の政治参加だけでなく、常設型住民投票条例のような、政治参加、意見表明の機会を具備した制度設計のある社会こそ、まさに成熟した社会だ。

反対

後藤 英樹 議員

個別型では案件によっては、18歳未満の高校生も住民基本台帳に登録している外国人も参加することも、可能になる。なぜ限定するのか。

常設型として標準準備するのは、災害や事故の対策だけでいいのでは。外交や防衛の問題でも、市の意思を明確にする必要があるものは、最終的に市長が判断でき、一部外国人が投票できるのは限りなく違憲では。

選挙の投票施設の充実等の参政権の充実が住民投票より先では。以上の理由で反対である。

討論

04 本会議の採決

議案第48号を原案のとおり可決することについて

賛成9人 反対8人により賛成多数で **可決**

賛成者と反対者の一覧は5ページをご覧ください。

投票資格者の範囲や常設の条例とする必要性を議論した結果

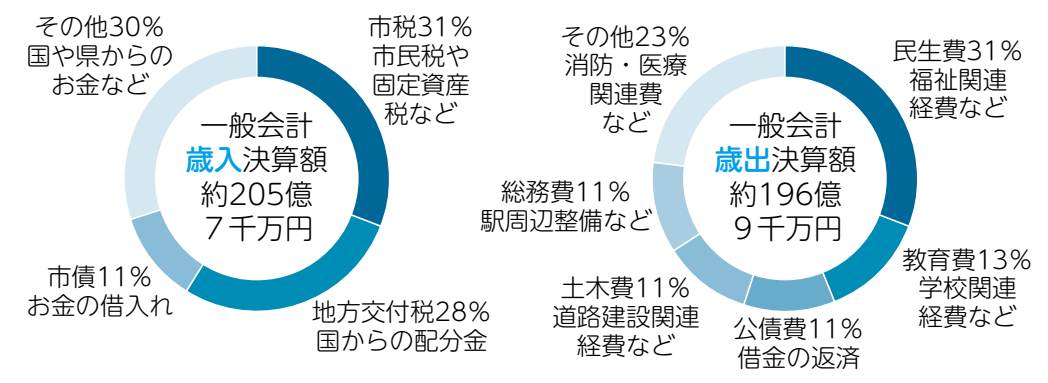
重要な案件を市民が投票で賛否を表す「住民投票」について、法に基づく案件ごとに条例を作って実施する「個別型」の方法ではなく、住民投票条例を「常設型」として制定しておくことに対し、



平成30年度 決算 審査

一般会計の実質収支は約8億3千万円の黒字（前年度比約1億4千万円増）

一般会計の借金（市債）の新規借入額は、前年度に比べ約5億6千万円抑制されたが、米原駅東部土地区画整理事業等の特別会計の廃止により、特別会計の借金を一般会計に含めたことが主な要因となり一般会計の借金残高が前年度に比べ約11億8千万円の増加となった。また、一般会計の貯金（基金）は、前年度に比べ全体で約3億3千万円の増額となった。



決算における財政の健全化判断比率結果

各会計で赤字および資金不足が生じていないため	実質赤字比率 健全	借金残高等負債に充当できる財源等が回っているため	将来負担比率 健全
実質公債費比率は6.1%と早期健全化基準の25%を大きく下回っているため	実質公債費比率 健全	公営企業の水道および下水道の各会計で資金不足額がないため	公営企業の資金不足比率 健全

一般会計決算認定までの経過

議会は、決算特別委員会の設置を決め、委員を8人選任して3日間の審査を実施。決算特別委員会では、一般会計の決算認定を**賛成4人反対2人**（1人欠席）の賛成多数で認定すべきものと決定。

クロージングアップ討論 クロ討2

本会議で委員長報告を受け一般会計の決算認定に対する討論

<p>賛成</p> <p>堀江 一三 議員</p> <p>決算の認定にあたっては、地方自治法の「決算認定制度」の趣旨に基づき、議会が議決した予算が市民のために適正に使われたかを市民に代わって審査するものである。提出された各種資料を精査して、行政効果・経済効果を見極める重要な審査である。提出された決算は住民の福祉の向上に資するものである。</p>	<p>反対</p> <p>山脇 正孝 議員</p> <p>30年度は約8億円の黒字だが、形の上の黒字だ。予算執行額が少なければ、その分不用額となり、歳出決算額が減少し数字上の黒字は増える。8億の黒字の多くは不用額約6億6100万円が事業に予算計上されながら使われず、翌年度にも繰り越さずに余った分だ。不用額や無駄な補助金を減らせば、市民のための施策に使える。</p>
--	--

本会議で一般会計の決算認定を採決した結果 **賛成13人 反対4人** により賛成多数で**認定**

賛成者と反対者の一覧は5ページをご覧ください。

問 財政調整基金債券の売却時期の決定および予算措置は。

答 当該債券は、額面を下回る状況が続いていた中、平成31年2月12日に売却したものです。売却益を積み立てる予算措置については予備費で対応しましたが、今後は補正予算での対応とし、状況に応じて議会へ報告します。

問 進んでいない市有地の売却の方針は。

答 市有地の売却は積極的に進める方針ですが、境界の確定等難しい点があり進んでいません。売却できる土地については積極的に売却していきます。

問 米原駅東口まちづくりの進捗状況は。

答 民間レベルで一般社団法人を立ち上げ、この9月を目前に基本設計が完了する予定です。県の担当部局と協議をしているところであり、基本設計完了後に議会に説明をしていきたいと思えます。

問 伊吹地域小泉以北の8集落におけるコミュニティバスの運行見直しは。

答 路線バスの利用状況あるいは地元要望等を考慮しながら効率性・利便性を図りつつ、令和2年の10月を目途に見直しを考えています。

決算特別委員会の主な質問と回答

- ◆決算特別委員会◆
- 委員長 吉田周一郎
 - 副委員長 矢野 邦昭
 - 委員 磯谷 晃、田中 眞示、西堀 幸、澤井 明美、堀江 一三、松宮 信幸

問 小中学校におけるいじめの件数とその対応は。

答 30年度は90件あり、そのうち軽微なものは45件でした。見逃すことなく組織で対応しています。いじめ等対策支援員が各学校に出向き、管理職等と相談して解決を図っています。

問 空き家解体後の固定資産税は。

答 解体後の宅地の固定資産税は平均で今までの4倍ぐらいいなっています。住宅の特例により減額措置がなくなり、本来の税額に戻るようになります。

問 伊吹そばの地理的表示（GI）登録後の施策は。

答 種子の確保と安定生産について県の技術指導を受け、支援をしたいと思えます。

問 市道藤川相撲庭線の県道昇格は。

答 農道として整備した場合、本来の目的を変えて県道昇格は困難な状況です。要望内容の視点を見直し、引き続き要望していきます。



監査委員の決算審査意見書の一部を紹介

◆一般会計・特別会計◆

30年度は、総合計画に掲げる市の目指すべき将来像の実現に向けて、6つの基本目標に沿った取組を推進するとともに、市長マニフェストに政策提案として掲げられた市民との4つの約束を重点取組事項と位置付け、各種事業が実施された。

これらの取組を支える財政運営としては、国の経済対策による財源措置の活用や、特定目的基金の取崩し抑制とともに市債の繰上償還などにより、健全な財政運営が図られた。

◆改善・検討事項◆

所管課においては段階を踏みながら債権整理を進めていることが伺えたが、必要な調査や措置を行わないままに不納欠損を行った場合は、徴収事務に対する市の不作為を問われるおそれがある。今後も体制整備や人材育成に努め、調査業務を安定的に行われたい。また、平成28年3月から導入した収納管理システムの抽出データを活用することで効果的な時効管理を図り、不納欠損に至る債権の抑制に努められたい。

報告します！

総務教育常任委員会

予算常任委員会 総務教育分科会

委員長・分科会長 中川 雅史
副委員長・副分科会長 鹿取 和幸
委員 田中 眞示、山脇 正孝
吉田 周一郎、北村 喜代隆



会計年度任用職員制度
導入へ準備スタート

条例制定

◎米原市会計年度任用職員
の給与および費用
弁償に関する条例の制
定

問 新制度移行後に、
給与額は変わるのか。

答 基本的に今の年収
をそのまま引き継ぎ、
維持することを想定し
ています。

◎会計年度任用職員制
度の導入に伴う関係条
例の整備に関する条例
の制定

問 任用した年度が終
了した後、次年度は選
考試験等があるのか。

問 フルタイムとパー
トタイムの会計年度任
用職員は、何人を見積
もっているか。

答 新制度への移行後
は、フルタイム約30人、
パートタイム約50人お
よび10人程度の任期付
職員を想定していま
す。



答 一つの年度が終わ
ると、人事考課に特に
問題がなければ新たな
任用となります。

問 任用の期限を3年
とした理由は。

答 国の基準に基づき
制度設計をすることに
なっており、それに合
わせて制度の仕組みを
つくりました。

◎米原市住民投票条例
の制定

問 条例制定にあたり
市民への問いかけや対
話は十分か。

答 第4期推進委員会
では2年間という長期
にかけ議論いただいて
おり、第6期推進委員
会でも意見を伺いまし
た。

今後は議会で議決を
いただいた後、具体的
な運用に向け、制度が

常備されていることの
意味を含めて説明する
べきと考えており、市
民の皆さんに情報提供
を行います。

問 住民投票が実施さ
れた際、支出する経費
に制限はないのか。

答 実施することにな
れば、公の経費は議会
に提案し議決をいただ
いた後、実施すること
になります。公の経費
の枠の中でそれぞれの
メリット・デメリット
を市民の皆さんにお伝
えます。

問 個別の自由な運動の
枠内での支出は行政で
は把握しかねます。

問 推進委員会での議
論は偏っていないか
たのか。

答 個別型と常設型を
並行し社会情勢等、市
民と行政の距離感も含
め長期間の議論をいた
だいたと考えています。
最初から、どちらか
がありきでの議論では
なかったと理解してい

ます。

ます。

2年間をかけ、個別
型・常設型も含め、ま
ず自治基本条例の条
文に沿ったどういう制
度が必要なのかを十分
議論いただく中で、意
見書として市長に提出
いただいた経緯があり
ます。委員の皆さんに
は大変なご尽力を賜っ
たと受け止めています。

問 パブリックコメン
トの結果は。

答 1回目の案で1人
からご意見をいただき



ました。2回目の修正
案ではご意見はありま
せんでした。

以上、慎重審査の結
果、付託を受けた議案
のうち、補正予算は、
賛否の確認を行い、48
号は、賛成少数で否決
すべきものと決し、49
号、50号の2議案は、
賛成多数、またその他
5議案は、総員賛成で
可決すべきものと決し
ました。

報告します！

健康福祉常任委員会

健康福祉分科会

委員長・分科会長 中川 松雄
副委員長・副分科会長 西堀 幸
委員 礪谷 晃、鏑田 明
澤井 明美、堀江 一三



放課後児童クラブ長期休業期間
利用者も夕方延長預かりへ

令和元年度補正予算

◎障がい者福祉

問 重症心身障がい者
生活介護施設運営補助
金で、今回不用額が発
生し減額する理由は。

答 びわこ学園が運営
されている重症心身障
がい者通所施設「えが
お」において、利用者
が近年徐々に増加して
おり、今年度について
は、自己資金や留保資
金を含め運営ができる
とのことで、長浜市と
も協議し、今年度につ
いて補助金は不要との
判断に至りました。

◎社会福祉施設改修

問 地域包括ケアセン
ターいぶき修繕工事で、
この施設の築年数は。
また、市の施設なので
全国市有物件災害共済
会での損害保険に加入
されていると思うが、
保険対応はどつなつて
いるのか。

答 地域包括ケアセン
ターいぶきの築年数は、
18年4月に竣工され
13年が経過していま
す。

また、全国市有物件
災害共済会の保険対象
となる見込みです。保
険金額については、修
繕後でなければ確定し

ないため、現段階にお
いては保険金の歳入の
補正予算要求をしてい
ません。

◎特別会計

◎国民健康保険事業

問 保険給付費等交付
金剰余金2千932万3千
円の流れは。

答 30年度中の療養給
付費の保険者負担分で、
2月診療分を概算で国
保連合会を通じ、各医
療機関に支払います。
次年度になり額が確定
すると、精算というこ
とで国保連合会から返
還されます。その返還
分を県に戻すという流
れです。

条例改正

◎放課後児童クラブ条
例の一部改正

問 現在の放課後児童
クラブの預かり時間は、
午後6時30分まで延長
とされているが、5年
後も10年後も午後6時
30分までと考えている
のか。今後、保護者の
要望があれば見直しは
あるのか。

答 児童は、放課後児
童クラブで午後3時か

問 市の今後の国民健
康保険税の徴収に対す
る考えは。

答 30年度から国民健
康保険税の制度が変
わったことで、県に納
める納付金相当額を県
が示し、標準保険料に
応じて徴収します。令
和2年度からの保険料
は、この9月から国保
運営協議会で市の国保
税について協議を始め
てもらいたいと考えて
います。

ら午後6時30分まで利
用する現状を見ると、
保護者に寄り添うこと
も大切ですが、午後7
時や午後8時までとす
ることについては、公
立の放課後児童クラブ
としては、今のところ
6時30分までと考えて
います。保護者の方が
時間までにお迎えに来
られない場合は、1回
200円の緊急延長利用と
いう制度がありますが、
極力早めのお迎えをお
願いしています。

問 保育所は、午後6
時30分から延長して午
後7時まで預かりがあ
るが、放課後児童クラ
ブでは30分早く迎えに
行くことになり、保護
者の仕事に影響が出な
いのか。

答 保護者のお迎えが
午後6時30分以降の対
応として、地域の力を
借りたファミリーサ
ポート制度で児童の送
迎預かりをしていただ
いている家庭もありま
す。

以上、慎重審査の結
果、付託を受けた議案
のうち、補正予算は、
賛否の確認を行い、そ
の他の議案は総員賛成
で可決すべきものと決
しました。



報告します！

産業建設常任委員会

予算常任委員会 産業建設分科会

委員長・分科会長 今中 力松
副委員長・副分科会長 山本 克巳
委員 後藤 英樹、細野 正行
矢野 邦昭、松宮 信幸



市内各校園の安全対策として
6つの路線で路面標示工事をを行う

令和元年度補正予算

◎一般会計

○交通安全対策

問 交通安全施設整備事業について、整備の進め方は。

答 大津市での事故を受け、緊急に市内各校園の周辺道路の安全点



道路交通法に基づいて設置する横断歩道の白線などは公安委員会が設置管理しますが、それ以外の外側線や中心線などは道路管理者である市が引き直します。

中学生の海外派遣事業について

問 県内の、中学生海外派遣事業の実施状況は。

答 本市以外の18市町のうち、30年度は、9市町で実施され、そのうち2市町は隔年実施となっております。

問 今後の中学生海外派遣事業の計画については。

答 現在、本市においては、国際交流員2人、スポーツ国際交流員1人および外国語指導助手6人の計9人を活用しながら、国際理解教育の推進と英語を使うためのコミュニケーション能力の育成に力を入れています。さらに、長期休業中には、市内小中学生を対象にオンライングリッシュフェス事業を企画し、積極



鹿取 和幸 議員

- 中学生の海外派遣事業について
- 三島池の鳥獣保護と水質保全について

○道路橋りょう維持

問 除雪事業で、凍結防止剤散布車の購入費2千300万円を繰り越す理由は。

答 5月に入札を執行し年度内の納期で発注したところ、応札者がなく契約に至っていません。

問 除雪事業で、凍結防止剤散布車の購入費2千300万円を繰り越す理由は。排ガス規制等の更新や車両のニューモデルの出る時期と重なるなど、特殊な事情で製造側の受注が込み合い、年度内の納車が見込めないため繰り越すことになりました。

問 今年度は、今の散布車を修繕して対応します。

○観光

問 観光関連施設管理運営事業において、国の補助金1千200万円を受けPFI手法による公共施設等運営権制度の導入の可能性を調査する件で、対象となる施設と事前協議しているか。

答 対象となるグリーンパーク山東、近江母の郷文化センター、醒井水の宿駅のそれぞれの施設の管理者に、この調査を行うと説明しています。



三島池の鳥獣保護と水質保全について

問 三島池の鳥獣保護対策は。

答 市の具体的な取り組みは、週に1回、職員によるカモやカワウなどの生息数の確認を行っています。また、三島池周辺は鳥獣保護区の特別保護地区に指定されており、狩猟の禁止や開発行為の規制などをを行い、生息環境の保全を図っています。

問 今後、関係機関等と連携して鳥獣の保護に取り組むとともに、カワウについては、県と調整しながら、適切な時期での対策を考えています。

問 三島池の維持管理は。

答 三島池やおなごだめについては、農業用ため池と同様に自治会



者である市に民間事業者が一定の対価を支払い、運営、維持管理、企画を行い、利用料金を収入として受け取る権利を持つ制度です。

民間事業者による安定的で自由度の高い運営を可能にすることで、利用者ニーズを反映した質の高いサービスが提供されます。

問 上下水道料金システムを構築する経過と流れは。

答 基幹システムを「おつみ自治体クラウド」に移行しますが、当初予算要求時にはこの料金システム経費が含まれていないことがわかりませんでした。そこで、価格など検討を重ねた結果、上下水道料金システムを基幹システムと連携させ、「おつみ自治体クラウド」の中に取り込む形で、新たに構築する計画となりました。

◎特別会計

○水道事業会計

問 水道施設運転管理業務の委託については。

答 市内6つの浄水場を包括して一社に業務委託します。各浄水場の運転監視、操作業務、各設備の保守管理業務、水道施設の

水質管理を委託します。日本水道協会の定める積算基準書により積算した価格で、5年間で4億8千400万円になります。

以上、慎重審査の結果、付託を受けた議案のうち、補正予算は、賛否の確認を行い、その他の議案は総員賛成で可決すべきものと決しました。

等において維持管理をお願いしています。

問 三島池の水質調査と米などの生産への影響は。

答 市が実施している水質調査は、過去の公害等の追跡調査や地下水等の水質変動調査を目的に行っており、農業用ため池である三島池の水質調査は行っていません。しかし、安全で安心な米の生産のために、農産物安全対策協議会による籾の簡易検査を実施しており、米の品質に影響は出ていません。

問 三島池の水質の浄化は。

答 水質浄化の取り組みとして、地域においては、農村まるごと保全向上対策として、水路の泥あげや代かき時期の濁水を流さない活動等を実践されています。市では関係機関と連携し、濁水パトロール等の啓発や指導を行っています。

また、一般的にため池の水質浄化を図る方法として、農業用水を利用しない時期に水を落として入れ替える方法や、干し上げる方法等があります。しかしながら、三島池は、渡り鳥が越冬する池でもあり、このような方法は取れません。今後関係機関等とも協議し、水質改善につながる方法を研究していきたいと考えています。





中川 雅史 議員

- 放課後児童クラブの質の向上について
- 環境学習について
- 一部除草剤の危険性について

放課後児童クラブの質の向上

問 質の向上に向けた具体的な取組は。

答 1人当たりの面積を基準の5割増の2.47㎡を確保し、安全に過ごせる環境を整えています。また、支援員の資質向上に向け、県が開催する研修や市が年3回開催している支援員全体研修会を受講していただいています。

問 支援員の適正な配置は。

答 条例に基づき、適正に配置しています。

問 民間放課後児童クラブへの補助金を準備したが、新たな受入団体は。

答 現在、新たな民間団体はありませんが、近隣市や事業者へのヒアリングを行い、情報収集しています。

地域で子どもを守る仕組みづくりはできないか。

問 地域で子どもを守る仕組みづくりはできないか。

答 市内において、子ども食堂や学習支援に取り組み団体が増えており、子育てを家庭のみの責任とするのではなく社会全体で見守ることが必要と認識しています。しかし、このような活動はボランティアで支えられており、継続して運営できるよう県へも財政支援を求めています。

問 19時迄のさらなる時間延長の要望があるが、対応は可能か。

答 費用は発生しますが緊急延長利用として対応しています。



水環境についての環境学習の様子

問 市の環境学習の取り組みは。

答 普及啓発活動とし、ごみの分別ルール、自然エネルギーで暮らす、まいばら水のお話などの出前講座を実施しています。また、小学生以下を対象の番場千石谷自然観察会や環境フォーラムを開催し、環境に対する意識高揚を図っています。さらに、小中学校で

は環境教育全体計画を作成し、豊かな自然を生かして各校特色ある環境学習を実施しています。小学校は、主に身近な地域の水環境についての学習、中学校は「びわ湖の日」清掃活動や資源のリサイクル活動を中心に学習しています。

問 地球温暖化防止活動の取り組みは。

答 市地球温暖化対策率先実行計画を策定し、取り組みを進めています。

問 今後の課題は。

答 計画した目標達成のため、暮らしの中で市民一人ひとりが地球環境を意識し可能な取り組みを地道に実践いただくことが何よりも重要であると認識しています。こうした行動を継続していただければ、引き続きしていきます。

一部除草剤の危険性

問 一部除草剤の危険性の認識は。

答 欧米などで一部の除草剤が発がん性や遺伝子への影響について報道されています。除草剤等の農薬は、農薬取締法により販売および使用が規制されているため、関係法令の基準を満たすものが流通しており、適正な使用方法を守れば安全なものと考えています。

問 公共施設での除草剤の使用は。

答 草刈による除草がほとんどですが、一部の施設で除草剤を使用しています。使用している除草剤は基準を満たしており、適正な使用方法を守れば安全なものと考えています。

市の環境学習の取り組み

問 市の環境学習の取り組みは。

答 普及啓発活動とし、

姉川・天野川の浸水対策について

問 高齢者等避難開始を発令された防災無線は聞き取りにくく、別途周知されたのか。

答 防災アプリやデータ放送のテレビでの周知や、避難対象区域自治会には、出水期までに水防に関する事前協議を行い避難体制の準備を整えました。

問 過去3年間の姉川・天野川流域での避

難指示等の発令回数と、河川改修計画の進捗は。

答 天野川流域の避難開始は5回、避難勧告は3回、姉川流域の発令はありません。天野川の河川改修計画は現在調査検討中で、今後住民説明会等の後、来年度には20年間の計画が決定される予定で、姉川の米原市区域の河川整備計画は未着手です。

問 長浜市区域の姉川は丹生ダムの是非を検討される中で検討され、天野川は28年度策定の湖北圏域の河川整備計画から着手され、来年度には整備実施区間になる予定です。

問 市長に河川災害から人命財産を守る責務と、遅れた河川整備を推進する方策について問う。また、長浜市では官民一体となり推進する治水対策期成同盟を設置されていることについては。

答 一級河川管理者は県ですが市長にも責任があり、調査検討区間から整備実施区間への格上げに向け県に要望活動を重ねてきました。今後は沿川住民と行政が一体となり整備促進体制をつくる段階で、県に強力に予算要望していきます。

地域力強化推進について

問 地域福祉の「地域力強化事業」の進捗と、目指す体制づくりとは。

答 旧4町域のふくし座談会を通じ課題解決の体制づくりを進めています。目指す体制は、市全域、旧町や小中学校単位、自治会単位の三層です。

問 災害が多発し、地域のつながりが重要である。地域づくりのため、地域福祉が目指すような、地域力の強化の組織づくりが必要では。

答 複数の自治会にはまちづくり委員会支援事業補助金等による支援を行い、まずは単位自治会の地域力向上が必要と考えています。

ふるさと応援寄付金制度について

問 30年度ふるさと応援寄付金額約8千600万円に対する必要経費と、残りの純収入となる額は。また、その用途は。

答 返礼品調達費1千800万円を含めた経費の総額は約3千200万円、市民の方が市外に寄付された件数と額は、803人で約6千500万円（市民税控除分約3千100万円）、純収入額は約2千300万円です。

問 令和元年度は、三成ゆかりの地観光拠点化や、伊吹山麓道路事業等に充当しています。

問 今後の事業展開は。

答 本制度により地域経済の再生と、米原フアンなど関係人口の増加により本市の躍進を図っていきます。



矢野 邦昭 議員

- 姉川・天野川の浸水対策について
- 地域力強化推進について
- ふるさと応援寄付金制度について



天の川（長岡の下流部）

水の危険度が高いのに河川整備計画が未決定で、姉川の米原市区域は整備計画の対象外だ。長浜市の姉川は既に工事が進められている。なぜ本市の河川整備計画が遅れたのか。

問 天野川は避難指示等が頻繁に発令され洪水の危険度が高いのに河川整備計画が未決定で、姉川の米原市区域は整備計画の対象外だ。長浜市の姉川は既に工事が進められている。なぜ本市の河川整備計画が遅れたのか。

問 30年度ふるさと応援寄付金額約8千600万円に対する必要経費と、残りの純収入となる額は。また、その用途は。

答 返礼品調達費1千800万円を含めた経費の総額は約3千200万円、市民の方が市外に寄付された件数と額は、803人で約6千500万円（市民税控除分約3千100万円）、純収入額は約2千300万円です。

問 令和元年度は、三成ゆかりの地観光拠点化や、伊吹山麓道路事業等に充当しています。

問 今後の事業展開は。

答 本制度により地域経済の再生と、米原フアンなど関係人口の増加により本市の躍進を図っていきます。



澤井 明美 議員

- 米原市の子育て支援の更なる充実を目指して
- 米原市は放課後児童クラブの実施主体として、条件整備は図られているか

子育て支援の更なる充実について

問 屋内児童遊戯施設を設置できないか。

答 市が保有する既存の施設は、それぞれの目的に応じて運営していますので、屋内児童遊戯施設を整備する計画はありません。

問 連絡調整と情報収集をつなぐ「ワンストップ相談窓口」を設置できないか。

答 市では出産後、心身に不調や育児不安等がある方、家族等から家事や育児等の援助が



体育館を改修した屋内児童遊戯施設「かがにここパーク」(石川県加賀市山田町)

受けられない方に、産婦人科医療機関等での日帰りや宿泊による体調管理や育児支援が受けられる事業を実施しています。また、必要に応じて保健師による家庭訪問も行っています。

問 産後家庭支援ヘルパーの研修は。

答 事業主体であるシルバー人材センター会員の方の更なる資質の向上を願い、講師を派遣するなど積極的に関わっていきたいと思います。

問 祖父母と同居や近居を目的とした定住促進のための助成は。

答 住宅や空家のリフォーム工事費の一部を助成しています。その中に三世代同居・近居加算があり、定住促進を図っています。

問 子育て情報のみの

放課後児童クラブの実施主体として、条件整備は図られているか

独立したサイトは。

答 子育て応援サイト「まいハグ」や「メールマガジン」で子育て支援情報を発信しています。

問 市町村が実施主体となったことへの認識や責任は。

答 放課後児童クラブの設置は、子ども・子育て支援法や児童福祉法であることは理解しています。放課後児童クラブ運営方針に基づき、全ての放課後児童クラブが基準を遵守し、運営方針に基づいて運営していただくよう指導を行い、市の責任を果たしています。

問 市が条例で制定した基準を自ら守ること

は。

答 放課後児童クラブが条例や運営方針に基づいて実施していることを認識していただくために研修会等を開催し、環境面と資質の向上に努めています。

問 運営費・支援員の処遇改善は。

答 放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業を活用して処遇改善を行い、更に資格を有する支援員の賃金を改善しました。

県に対して月額支援員一人から二人へと運営費補助基準額の引き上げを要望しています。

問 放課後児童クラブの向上を図るには。

答 放課後児童クラブ運営方針に基づき、適正かつ円滑に運営されているか確認し、指導や助言を行っています。



細野 正行 議員

- 10月からの消費税に伴う施策について
- ドライブレコーダーを公用車に
- 発達障がいに関する相談、支援体制について

キャッシュレス決済における市の取組・周知は

問 キャッシュレス決済にはどのようなものがあるのか。

答 本制度で利用できるキャッシュレス決済には、クレジットカード・電子マネー・プリペイドカード・デビットカードやスマートフォンによるQRコード支払いなどが対象となります。

問 市内では、どのような業種・業者が登録をされているか。

答 市内では、ガソリンスタンド、食料品店、電化製品店、コンビニなどの小売店や理容・美容、飲食などのサービス業などを営む登録を済ませた約40店舗です。今後も、対象店舗は増えると思っております。

問 他の市町でもこの制度は、利用できるのか。

答 この事業（キャッシュレス・消費還元事業）は、全国で実施され、他の市町の対象店舗でも利用できますが、今回の制度は、消費税引上げに伴う中小規模店舗における制度で、大規模店舗でポイント還元を受けることはできません。

対象店舗には、当制度のロゴ入りポスター等が掲示されることになっていきます。



ドライブレコーダーを公用車に

問 昨今あり運転等の危険運転が大きな社会問題になっているが、公用車にドライブレコーダーが必要ではないか。

答 ドライブレコーダーの設置は、あり運転などの危険運転車両との遭遇時や事故発生時の証拠としての役割のほか、走る防犯カメラとも呼ばれており、市内で発生した事件や事故などの早期解決や犯罪の抑止力にも繋がると考えます。

このことから、今後新しく購入する公用車には、ドライブレコーダーを設置していきま

問 ドライブレコーダーの設置されている台数と今後の予定は。

答 公用車には、一般車両3台と通園通学バス9台の計12台です。今後の設置については、比較的新しい公用車への導入を検討しており、具体的には、新年度予算において、購入後6年未満の公用車約50台について設置することを検討しています。



ドライブレコーダー

発達障がいに関する市発達支援センターの役割は

問 世代ごとの支援体制は。

答 切れ目のない一貫した支援を行うため、入園時に各園と保護者で「個別の教育支援計画」を作成し、その後の進学に合わせて継ぎ、支援をしています。また、市発達支援センターでは、乳児期から成人期の発達検査を行っている方、希望される方には、医療機関への橋渡しや、個々のニーズに応じた支援・提案をしています。

問 市の課題と支援センターの現状・拡充は。

答 発達障がいに対する理解や認識が無い為に見逃ごされる方が多く、そういった方を把握・支援に繋ぐ事が課題です。本人や家族、地域の方々に正しく理解していただけるよう努めていきます。

また、相談できる窓口を幅広く設け、専門機関へ繋いでいきます。



山脇 正孝 議員

- 幼児教育・保育「無償化」から生じる問題点について
- 国民健康保険税の子ども均等割額軽減の検討状況を問う
- 教職員の長時間労働をなくし、子どもの学習権保障を

点 副食費実費徴収の問題

問 「無償化」の対象となる施設、全体の利用者数と「無償化」対象者数は、

答 対象施設は認定こども園、幼稚園、保育所。現在の利用者数1千392人中、無償化対象者数は987人です。

問 2号認定の3から5歳児の副食費が「無償化」により一部を除いて新たに実費徴収となり、徴収額が増える可能性があるか。

答 副食費は、保育料の無償化後も保護者に負担を求めますが、保護者の負担が増えることはありません。

問 国の「無償化」により、2号認定の3から5歳児の第2子の中で、新たに何人副食費が実費徴収となるのか。

答 非課税免除以外の方には、保育料を軽減してきたものの、副食費等に相当する額を保育料に含めて負担を求めてきました。これから、第2子の内、新たに副食費が実費徴収となるのは280人です。

問 市のこれまでの2子以降の保育料無料化とは、副食費分を除いた額の軽減だったというわけだ。これは本来の無料化ではない。所得がD7階層の短時部3歳児の第2子の現在の保育料は軽減されて6千800円である。副食費は4千400円分だが、後は何の費用か。

答 副食費の4千400円他に、保育に係る材料費と一般生活経費が入っています。

問 副食費を含め、毎月7千円から1万円程度の実費徴収があるか。

答 負担が拡大すると、格差が拡大し、年収360万円を超えても貧困ボーダー層が増大しかねない。どう考えるか。

答 国は、360万円未満の所得層と第3子以降に副食費を無償にするなど、一定低所得者層への配慮をしていると考えています。

子ども均等割軽減の検討

問 国保の子ども均等割軽減の検討具合は、

答 保険料統一の方向等も踏まえ、今後の課題や問題把握のため、情報収集を行い、市国保運営協議会の意見も参考にしていきます。

問 財源問題はどうか。

答 国保基金を取り崩し補填する方法などを調査しています。

問 保険料統一が目標

日 課 表	ある小学校の1日
開校タイム	8:15 ~ 8:25
朝の会	8:25 ~ 8:35
ストレ・エトレ	8:35 ~ 8:50
1	8:50 ~ 9:35
	9:35 ~ 9:40
2	9:40 ~ 10:25
中休み	10:25 ~ 10:45
3	10:50 ~ 11:35
	11:35 ~ 11:40
4	11:40 ~ 12:25
給食	12:25 ~ 13:10
昼休み	13:10 ~ 13:30
そうじ	13:35 ~ 13:50
5	13:55 ~ 14:40
	14:40 ~ 14:45
6	14:45 ~ 15:30
帰りの会	15:30 ~ 16:40
下校 指帰	15:40 ~ 16:00
(休憩時間25分)	16:00 ~ 16:25
放 課 後(放課・事務仕事・課外・通信づくり・児童 準備等)	16:25 ~ 16:45

ある小学校の日課表

授業を大切にされた学校を

問 定時退勤日における定時退勤者の状況は、

答 定時退勤者の割合は、現在50%程度です。さらに各校管理職に呼び掛けていきます。

問 授業準備時間の確保に、

答 勤務時間内に授業準備時間を確保することは重要です。ある小学校では、学習意欲が持続しやすい午前5時間授業(各40分)を行い、教員の放課後の時間確保に一定の成果をもたらしています。



西堀 幸 議員

- 認知症の方と一緒に暮らし
- お世話されている家族の支援について

認知症の方と一緒に暮らし、お世話されている家族の支援について

問 要介護認定を受けた認知症の方で、30年度に施設に入っていない一人暮らしや、在宅でサービスを利用しながら介護をしている家庭は何件か。また、その方たちは要介護認定者の中で、何パーセントを占めているか。これから先の増加数の予想は、

答 認知症と捉えられる高齢者は1千611人で、在宅で介護サービスを利用されている高齢者は1千158人となっており、要介護認定者全体の54%です。また、在宅での認知症高齢者は、要介護認定者全体比率から計算すると、令和

7年には、1千342人となり、15・9%増えることとなります。

問 介護者家族の支援をどのように受け止めているのか。将来の展望は、

答 地域住民の支えあいの事業やお茶の間創造事業の拡充に取り組みます。また、介護者からの相談に対しては包括的・継続的な支援を行い、地域包括ケアを実現していくことで、住み慣れた地域で介護者とともに安心して過ごせるよう、事業展開していきます。

問 市に認知症を抱えて生活をしている家族の声は届いているか。また、このような家族に対して対処はしているのか。

答 「家族の介護には休みがない・余裕がない」などの声を聴いています。このような声に対応するため、市内2か所の包括支援センターで心のケアを行っています。また、認知症初期集中支援チームとも連携し個々の支援に取り組んでいます。

問 市内のサービス事業所の協力の下「ちよつと相談所」を開設しているが、市内に何か所あるか。また、年間の相談件数と相談内容はどうなのものが多かったのか。

答 市内の介護保険サービス事業所18か所で相談所を開設しています。回数は、月一回で、相談件数は全体で30件でした。内容は専門医への受診方法やサービスの利用等が主です。

問 ちよつと相談所を開設している事業所で「認知症カフェ」を開催しているが、どのような人が参加しているのか。また、利用状況と、開催事業所の利用者以外の人で、地域の

答 市内の介護保険サービス事業所18か所で相談所を開設しています。回数は、月一回で、相談件数は全体で30件でした。内容は専門医への受診方法やサービスの利用等が主です。

問 介護者をきちんと支えるため、一人ひとりに寄り添い、ニーズにこたえられる「認知症を支える家族の会」を作ってはどうか。

答 市には、オレンジサークルがありますが、必要な方につながっていません。介護者家族で抱え込まず同じ経験を持つ者同士が支えあい、気持ちを共有できる場所、ありのままを受け止められる場所として皆さんの支えとなるよう、この会を家族の会に発展していきたいと考えています。



問 授業準備時間の確保に向けた改革は、

答 支援員を配置したり学校訪問を減らしたり、働きやすい環境整備に努めています。

問 日課表の改革は、

答 勤務時間内に授業準備時間を確保することは重要です。ある小学校では、学習意欲が持続しやすい午前5時間授業(各40分)を行い、教員の放課後の時間確保に一定の成果をもたらしています。

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問



後藤 英樹 議員

○坂田駅周辺まちづくり



JR坂田駅

坂田駅周辺まちづくり について

問 都市拠点として整備される、大きな目標で言えば、米原市のまさに副都心を目指していく、坂田駅周辺のまちづくりの現況と今後の見通しは。

答 20年度から現在まで、坂田駅まちづくり委員会が主体となり、

民間企業や地元の皆様とともに、商業地や住宅地開発などの都市整備に尽力していただきました。

今後は、まちづくり委員会から提案いただいた、駅前広場の整備や歩道の照明整備に向けて取り組んでいきます。

問 社会情勢や経済問題は待ってはくれませ



磯谷 晃 議員

○天野川の河川管理について問う



大雨時の天野川

しゅんせつについて

問 天野川の過去5年間のしゅんせつ実績は、

度までの5か年で実施されたしゅんせつは、合計9件の工事が実施されており、しゅんせつ土砂の総量は3万8千500m³で、大型ダンプ

約7千台相当分となり

避難判断水位等に達した回数について

問 過去10年間で避難判断水位および氾濫危険水位に達した回数は、

答 天野川は、箕浦地先の近江橋と長岡地先の天野川橋の2箇所のポイントで水位観測されています。

また、市では洪水時に河川監視カメラで水位の状況を常に確認しています。

21年度から30年度までの10か年において、避難判断水位に達した回数は近江橋で5回、天野川橋で22回あり、氾濫危険水位まで達した回数は、近江橋で4回、天野川橋で9回です。

回数の集計については、同一の雨と思われるもので降雨の強弱で何度か水位を超えた場合も最高水位を1回としてカウントしています。

河川容量について

問 天野川の河川断面は改良済みとしているのか。

答 天野川は、昭和34年伊勢湾台風の発災により、壊滅的な被害を受け、災害復旧助成事業により改修されました。

それ以降、大規模な河川改修は行われておらず未改良であるため、琵琶湖河口から柏原地先までの全川19kmを対象に調査検討が行われ、県において河川整備計画の策定が進められています。

残土仮置き場の確保について

問 しゅんせつ残土の仮置き場や処分地の確保は、

答 しゅんせつの実施において課題となる残土の仮置き場等については、事業採択に有利になるよう市が率先して準備しています。

現在は、北方地先の市有地約8千m²を仮置き場として利用しており、最終処分については、県道整備の道路路盤材として活用されています。また、住民の方から残土の搬入を希望される場合においても積極的に取り入れているところではあります。

今後とも、しゅんせつが速やかに実施できるよう処分地の確保に努めていきます。

状の周辺開発状況に合わせたまちづくりを今後進めていきます。

問 坂田駅前まちづくり委員会は市長の尽力が大きい、これからは市が主導権を取り、市税を使ってでも開発を進めていくことを検討しないのか。

答 土地利用の高度化、まちづくりなどは民間主導での成功事例だと評価しています。公共のインフラの分野では、市が責任を持って取り組む必要性はあると考えています。駅前広場の整備や、歩道の街路灯等の整備に税金を使っていくことについては、議会と議論していきながら、官民一体で進めて行く必要があると思っています。

ここが知りたい

・ 聞きたいQ&A 一般質問

ここが知りたい

・ 聞きたいQ&A 一般質問

統合庁舎建設後に山東庁舎を活用した(仮称)総合支所の組織体制について
委員会の指摘により上下水道部門が強化へ

7月2日の特別委員会では、(仮称)総合支所は重要であり、山東・伊吹地域での下水道工事や緊急対応の必要性等上下水道部門の充実が必要との委員会の指摘を受け、執行部から土木部の分室に上下水道部門を追加配置する方向との説明がありました。これにより、(仮称)総合支所全体の職員数は57人程度になる予定です。

市統合庁舎
建設に関する
特別委員会

議会活動報告
ぎ かつ
議 活

総務教育常任委員会
廃校活用は“田舎だからこそその魅力を都会の若者に気づかせる”

7月18日秋田県大仙市で学力向上の取り組みについて視察し、秋田の学力高さは①同僚性の高さ②県と市町村の施策③家庭・地域・教育機関等の連携と地道な取り組みの成果と理解できました。19日は秋田県南秋田郡五城目町にて廃校の活用について施設を視察しました。



五城目町地域活性化センター

健康福祉常任委員会
体育館を改修した屋内児童遊戯施設は“子育て世代に高い人気”

7月24日福井県越前市の高齢者介護・保育園・児童クラブの複合施設の視察と、石川県加賀市で子育て支援事業と、市民体育館を改修した「屋内児童遊戯施設“かがにこここパーク”」を視察しました。25日は石川県能美市で子育て支援事業を視察しました。



かがにこここパーク

産業建設常任委員会
災害廃棄物の処理は“初動”が大変重要

8月8日と9日に熊本県熊本市で災害廃棄物処理と熊本城の再建について視察し、災害廃棄物が約148万トンと推計された熊本地震での廃棄物処理の方法から、1次・2次の仮置場の設置、早い市民周知や関係機関と日ごろから確認作業をしておくことが重要と実感できました。



熊本市役所

市社会福祉協議会と
意見交換会
地域で支援が必要な人を支え合う「見守りネットワーク会議」が
70の自治会で実施され「地域で考える」取り組みが進んでいる

7月2日に米原市社会福祉協議会と意見交換会を行い、事業内容の説明や地域課題の現状について意見交換を行いました。地域の生活支援として、移動販売を12の商店が16の自治会で実施したが、運転手確保の課題があることや、見えづらい福祉課題として虐待や引きこもりの実態把握が難しいなどの現状を共有することができました。



8月29日に平成26年から審議を重ねてきた庁舎整備の安全祈願祭に出席しました。

先進地の事例を市政に生かす
常任委員会 行政視察研修

○小泉以北8集落が一体となり取り組む
地域課題の解決に向けて



今中 力松 議員

板名古川砂防事業

問 今後の対策は。

答 県と現地調査を実施し、上流に整備されている7基の砂防堰堤のうち1基に損傷がみられました。そこで、今年度で測量を実施し、次年度以降に補修されます。

また、今年度のしゅんせつは見送られましたが、土砂がかなり堆積しており、地元は災害の発生を危惧されていますので、引き続き県にしゅんせつの要望を行います。

上板並吉槻・長浜市
醍醐山間パイパストン
ネル整備

問 地元住民の取るべき対応は。

答 この路線は、米原

高齢者の交通確保

問 国土交通省が、地方自治体が車両を購入しバス事業者に貸し出す「公有民営方式」の国庫補助制度を設けているが、活用できないか。

答 現時点で本市は補助の対象となりませんが、高齢者の交通確保は地域課題であり、対策として伊吹北部の公共交通の見直しの検討を始めかけています。

問 見直しの現状は。

答 路線バス曲谷線の利用状況や地元要望などを踏まえ、車両のサイズや運行方法などを見直し、効率性や利便性の向上を図っていきたくと考えています。

問 今年度に見直しの詳細な内容を決定し、十分な地元説明等を行ったうえで、来年度中を目標に見直しを実施する予定です。

休校中の東草野小中学校
の活用

問 吉槻以北4集落は、施設を民間に貸し出す等の方策を取り、地域の活性化に役立てたいと望んでいるが。

答 今年度、伊吹北部4自治会から選出された委員に、学識者や社



耐震基準を満たしている
休校中の東草野小中学校

会福祉協議会からの委員を加え、東草野小中学校施設活用検討委員会を組織し、有効な活用と地域活性化に向け議論しています。4自治会を対象としたアンケート調査の結果を踏まえ、持続可能な自治機能の確保が必要であり、民間活用も含め地域が主体となつて活用していただきたいと考えます。

あわせて吉槻診療所や吉槻行政サービスセンターの移設も含め検討してまいります。

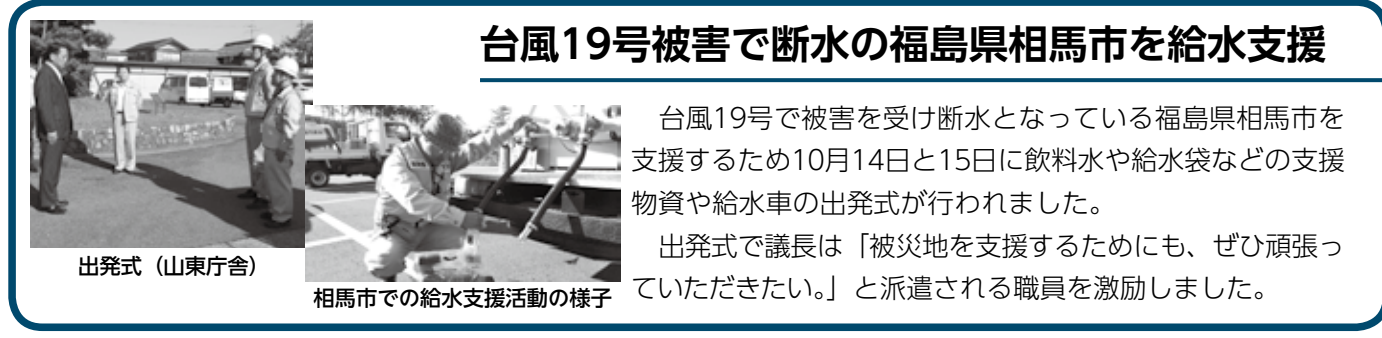
次回 令和元年第4回(12月)定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
・開会日は10:00、一般質問と各委員会は9:30 閉会日は10:15からの開会予定です。 ・日程および時間は、変更になる場合があります。						
11/24	25	26	27	28 開会 予算委員会	29	30
12/1	2	3 一般質問	4 一般質問	5	6	7
8	9 産業建設 委員会・ 予算分科会	10 総務教育 委員会・ 予算分科会	11 健康福祉 委員会・ 予算分科会	12	13	14
15	16	17 予算 委員会	18	19 議会運営 委員会	20 閉会	21

議会の傍聴	傍聴を希望される方は、当日に米原市役所 山東庁舎3階・議会事務局へお越しください。
本会議の 中継	開会日、代表・一般質問、閉会日の本会議の 模様を伊吹山テレビでご覧いただけます。
本会議の 録画配信	本会議の模様を録画配信しています。 http://www.city.maibara.lg.jp/

議会の動き

- 7月**
- 2日 意見交換会(米原市社会福祉協議会)
市統合庁舎建設に関する特別委員会
 - 3日 長浜・米原市議会連絡協議会総会
 - 5日 湖北広域行政事務センター議員研修視察
 - 8日 視察受入(千葉県山武市)
 - 9日 議会だより編集委員会
 - 10日 視察受入(香川県坂出市)
 - 11日 湖北地域消防本部新庁舎竣工式
政策研究会マイバラ、創成クラブ会派勉強会
 - 12日 清風クラブ会派勉強会
 - 16日 議会報告会実行委員会、議会だより正副委員長会議
 - 17日 委員会協議会(各常任委員会)
 - 18日 総務教育常任委員会行政視察研修(2日間)
 - 24日 健康福祉常任委員会行政視察研修(2日間)
 - 25日 視察受入(熊本県天草市)
 - 30日 視察受入(愛知県新城市)
- 8月**
- 1日 視察受入(埼玉県桶川市)
 - 2日 令和元年まいばらこども議会
 - 7日 視察受入(静岡県磐田市)
議会運営委員会、滋賀県市議会議長会広報・広聴活動
についての研究会
 - 8日 産業建設常任委員会行政視察研修(2日間)
 - 19日 湖北広域議会運営委員会
 - 20日 議会運営委員会
 - 21日 委員会協議会(総務教育常任委員会)
 - 22日 議員全員協議会
 - 23日 湖北広域行政事務センター議会定例会
視察受入(福島県相馬市)
 - 26日 郡市別政務調査会
 - 27日 議会運営委員会
 - 29日 米原市統合庁舎建築工事安全祈願祭
 - 30日 第3回定例会【初日】開会
議員全員協議会、予算常任委員会(全体会)
議会だより編集委員会
- 9月**
- 3日 湖北地域消防組合議会定例会
 - 4日 定例会【2日目】一般質問
 - 5日 定例会【3日目】一般質問
議会報告会実行委員会
 - 10日 総務教育常任委員会・予算常任委員会総務教育分科会
 - 11日 健康福祉常任委員会・予算常任委員会健康福祉分科会
 - 12日 産業建設常任委員会・予算常任委員会産業建設分科会
 - 17日 決算特別委員会
 - 18日 決算特別委員会
 - 19日 決算特別委員会
 - 24日 予算常任委員会(全体会)
 - 26日 議会運営委員会
 - 27日 定例会【最終日】本会議 採決等、議員全員協議会



台風19号被害で断水の福島県相馬市を給水支援

台風19号で被害を受け断水となっている福島県相馬市を支援するため10月14日と15日に飲料水と給水袋などの支援物資や給水車の出発式が行われました。
 出発式で議長は「被災地を支援するためにも、ぜひ頑張っていたほしい。」と派遣される職員を激励しました。

このデザインはアリかナシか
市議会だよりアンケート
結果報告 アンケート総数21通

議会だよりの紙面デザインに対する意見

賛成
6人

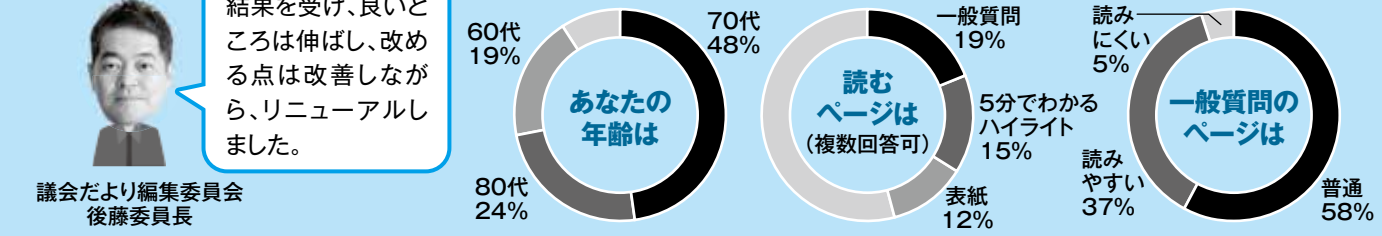
わかりやすい
読みやすい
目を引き手に取って
読むようになった
レイアウトの
仕方が良かった
見やすくなった

反対
5人

品格がない
重みがない
週刊誌のようだ
前のデザインが
わかりやすい
読みづらい

表紙の変遷

第57号
第55号
第52号
第46号



アンケート名: 米原市議会だよりアンケート アンケート募集期間: 令和元年7月24日から令和元年8月30日まで
 アンケート方法: アンケート用紙を折込みした米原市議会だより第57号(令和元年7月24日発行)を全戸配布

編集後記

異常気象の続いた暑い夏も終わり、めつぱり秋らしい季節となりました。収穫の秋、味覚の秋でもあります。私達には、楽しみでもありうれしい季節でもあります。

さて、議会だよりも、58回の発行を数え、その間、私たち編集委員は、工夫を重ねてきました。いかがでしたでしょうか。今回は、子ども議会とアンケート結果も掲載させていただきました。開かれた議事を目指して、編集委員も日々研さんしてまいりました。表紙の編集は、編集委員の願いでもあります。「パッと目を引く表紙にすれば手に取っていただけるのではないか」という思いからです。アンケートにも、賛否両論で、「意見をいただきたい。最短の情報誌でもありますので、ぜひ手に取ってご覧ください。」

今回も手に取っていただいた市民の皆さんに感謝いたします。

(西堀 幸)





25人の小学生が議員体験でこども議員提案条例を可決！

こども議会だより

スペシャル
ページ



ドキドキ
ワクワク

少し緊張
しながら

議場で開会を待つこども議員

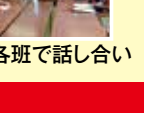
こども議員の感想

すぐくリアルで楽しかった
自分の意見をいったり、他の人の意見など、たくさん意見について考えることができ、とても楽しかった。

令和元年まいばらこども議会の(会期)は8月2日の1日間

9:30 体験記念バッジ作りとクイズラリー

正副議長室や議員控室などを巡り
議会についてクイズで学ぶ



10:30 委員会室で委員会体験
こども議員が考えてきた「よりよいまちになるため」の意見を

班ごとに一つの

意見にまとめて

委員会各班の意見を聞き全員で一つのこども議員提案条例にまとめた結果

「米原駅近くにみんなが楽しく集えるまちづくり条例」に決まる

12:00 議場で本会議体験
こども議員の提案

議場でこども議員の提案



3人が行い賛成多数で

可決

可決したこども議員提案条例に対する市役所担当部のコメント(政策推進部長)

今回のこども議会、こども議員の皆さんが意見を出し合って、「米原駅近くにみんなが楽しく集えるまちづくり条例」をまとめていただきありがとうございました。
市では現在、米原駅近く(東口)に市役所統合庁舎の建設を進めています。駅前の立地を生かして子どもから高い者まで幅広い人が集まって楽しく交流できるように、「コンベンションホールや3階屋上には電車が見える広場などを計画しています。また、市役所統合庁舎の南側にある土地では、民間開発事業として、にぎわいのあるまちづくりの計画が進められており、多くの人が楽しく交流できる施設や公園が検討されています。
このように米原駅の近くで新しくまちづくりを進めようとしているところであり、市としても、こども議員の皆さんがえがいていた将来像に少しでも近づけるように努力していきますので、米原市の明るい未来のためにご協力をお願いします。



委員会



各班で話し合い

アンケート結果からこども議員の満足度ランキング

1位	委員会体験	42%
2位	クイズラリー	31%
3位	本会議体験	23%